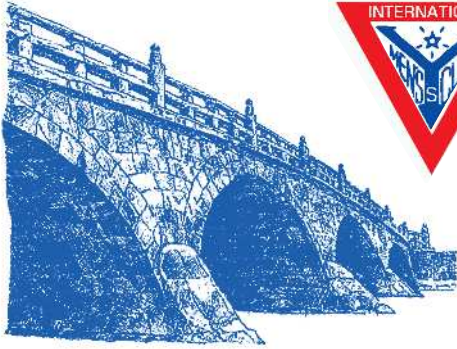




KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

No.341 2018

鹿児島ワイズメンズクラブ

11月号

国際会長 : Moon Sang Bong [韓国] Yes, we can change. 「私たちは変えられる」
アジア会長 : 田中博之 [東京多摩みなみ] Action 「アクション」
西日本区理事 : 遠藤通寛 [大阪泉北] Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future.
「未来に残すべきものを守り育てる」
九州部部长 : 上村真智子 [熊本ジェーンズ] Let's become the Y's Men to convey the charm
of Y's, the power of Y's, the activities of Y's.
「ワイズの魅力を、ワイズの力を、ワイズ活動を伝えるワイズメンになろう!」



鹿児島クラブ会長 松永 英明

「楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!!」

10月例会報告

鹿児島ワイズメンズクラブ10月定例会は熊本より藤元俊輔会長と桑原純一郎ワイズ(熊本みなみ)のお二人をビジターに、卓話者にノアコーヒ代表・東さつきさんをお迎えして開催されました。卓話の演題は「鹿児島県を珈琲の生産地にする挑戦」。10年かけての沖永良部島での国産珈琲にかけた思いと奮闘記を語って頂きました。霧島市日当山温泉で喫茶カフェと珈琲豆の自家焙煎の店を運営しつつ、沖永良部島での珈琲農園を手掛ける鹿児島で最も元気な女性のお一人です。珈琲と霧島市の産物を結びつけて新しい特産物を作ったりもされています。私たちも元気を大いに頂きました。今回は無理でしたが、近い将来沖永良部産の珈琲を飲める日を楽しみにしましょう。

鹿児島ワイズメンズクラブ 中堀 清哲



▲ 卓話者: 東さつきさん



◀ 例会の様子

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

11

企画例会報告

Planning meeting report

日 時：平成 30 年 11 月 13 日 火曜日

19:00~21:00

場 所：旧 珈琲館かみむら

出席者：神村、園屋、松若、松永

10

定例会報告

Regular meeting report

日 時：平成 30 年 10 月 23 日 火曜日

場 所：ジェイドガーデンパレス

出席者：16 名

司会者：松若ワイズ

10月例会の記録

クラブ在籍者	14名
出席者	11名
メネット	2名
ゲスト	1名
ビジター	2名
メイクアップ	0名
10月出席率	78.6%

今月の樹

ヤマウルシ

いま山々では、カエデと並んでヤマウルシが見事に紅葉している。

高さ3〜8mの落葉低木で、日本全土に分布している。山で最もよく見かける木の一つで、秋には真っ先に紅葉する。ウルシ科の木には紅葉のきれいなものが多い。ツタウルシ、ハゼ、ヤマハゼ、ヌルデ等がよく目立つ。葉の付き方は、1回奇数羽状複葉と呼ばれている。一つの葉に葉心が出来て枝のようになり、この葉心に互生した2枚ずつの葉が付いたように見える。これを羽状複葉という。葉心の先に葉が出ているものが「奇数」無いものが「偶数」羽状複葉である。この羽状複葉を2回繰り返しているネムノキの葉は、2回羽状複葉と呼ばれる。

雌雄異株で、5〜6月に黄緑色の小さな花を多数付ける。葉や枝に触れるとかぶれることがあるので要注意。

学名はRhus trichocarpaで、ウルシ科ウルシ属である。

ヨコポ

献金有難う
もじゃげます。

10月 合計金額 ¥5,210

2018

11

月の聖句

永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。あなたがわたしに行わせるためにお与えになったわざを、わたしは成し遂げて、地上であなたの栄光を現しました。父よ、みそばで、わたしを栄光で輝かせてください。世界が存在する前に、ごいっしょにいて待ちましたあの栄光で輝かせてください。

ヨハネ福音書 17-3〜4 （あなた=神 わたし=イエス・キリスト）

鹿兒島ワイズメンズクラブ

チャータ 1990 年 2 月 12 日

事務所 〒890-0056

鹿兒島県鹿兒島市下荒田3丁目43-7 1F

鹿兒島 YMCA 内

定例会 毎月第4火曜日 場所：ジェイドガーデンパレス

企画例会 毎月第2火曜日 場所：旧 珈琲館かみむら

(時間は企画例会・定例会とも 19:00~21:00 まで)

12月 定例会

日 時：12/11 (火) 19:00~21:00

場 所：ジェイドガーデンパレス

会長通信

鹿児島クラブ会長 松永 英明

05

楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!

朝夕めっきり冷え込む今日このごろ、皆様お元気でお過ごしでしょうか。日頃のワイズダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。

10月例会は、ノアコーヒー代表の東さつき氏をお招きしまして、「鹿児島県をコーヒーの生産地にする挑戦」と題して卓話をいただきました。東氏は、珈琲事業を始める前は、栄養士の仕事をされていました。料理好きがきっかけでカフェを始め、珈琲を提供していくうちに珈琲豆にこだわり、国産の珈琲豆にこだわり、終いには珈琲豆を自分で育ててみようというバイタリティーあふれる素敵な方でした。珈琲は育てることも大変ですが、焙煎にも特にこだわりがあるみたいで安心、安全な珈琲豆をお客様に提供するとを心掛けています。これからも素敵な珈琲ライフを届けて頂ければと思っています。我々ワイズメンズクラブの活動にとってもたくさんのヒントと元気をいただきました。本当にありがとうございました。いい出会いに感謝の気持ちでいっぱいです。

11月例会は卓話を予定していましたが、変更しまして鹿児島クラブの今後について皆様考えてみたいと思っています。1番は会員拡大です。7月の第1回評議会の中でEMCシンポジウムが開催されました。この内容を基に短い時間ではありますが、議論したいと思います。2020年には鹿児島クラブは30周年。鹿児島YMCAは10周年を迎えます。これからの5、10年を見据えて現状を認識していただき、これからの鹿児島クラブの発展のためにご理解、ご協力くださいますようお願い致します。

今年も残すところ1ヶ月余りとなり、イベントや忘年会など大変お忙しい時期になりますが、ご自愛くださいませ。

理事通信

西日本区理事 遠藤 通寛

05

未来に残すべきものを守り育てる

毎日の天気予報を見ながら心配する日々でしたが、此のところ天気が安定し少しほっとしております。

西日本豪雨で被災された子供たちの心のケアをするために西中国部、瀬戸山陰部に於いてリフレッシュキャンプが企画運営されています。

すでに開催されたキャンプで子供たちは思いでたっぷりの体験をされたようです。これからのキャンプが好天に恵まれますように祈っております。

10月24日にはセンチュリー・シガ・ゴルフクラブにて第1回京都YMCAチャリティーゴルフが開催されました。

楽しくプレーをしながら交流を深め、YMCAに献金ができる。また、友人を招き私たちの活動を見ていただける機会です。

和歌山紀の川クラブの皆様、京都プリンスクラブをはじめ京都部の各クラブの皆様には大変お世話になりました。

スポーツ、芸術等、様々な場面で活躍されているワイズの皆様を想像しております。チャリティーラン、ファミリーカーニバル等、本当に秋たけなわですね。

10月20日・21日 ホテルクライトン新大阪にて次期役員研修会が開催されました。

西日本区次期知事戸所岩雄ワイズのもと各部の次期部長の皆様、そして次期事業主任の皆様の方針の発表の場であり、また現役員が現状を認識し新しい情報を共有する学びの場でもあります。

船木LD委員長始め各LD委員の皆様の綿密な企画運営のもと2日間を終えることができました。

プログラムの内容が工夫され、あっという間に時間が過ぎたように感じたのは私だけではなかったようです。

昨年は台風の為に模擬役員会が出来ませんでしたが、今年は大変活発な模擬役員会を体験することが出来ました。

毎回のことですが模擬という事を忘れて本気で議論する場面をなりました。

全会員の皆様に見ていただきたいものです。西日本区役員になっていただきますとこの熱い議論を体験できます。皆様もご検討してみてください。



YMCA事業活動報告

第9回 鹿児島YMCA インターナショナル・ チャリティーラン 2018 開催



障がいをもった子供たちを支援しよう、障がいについて理解を深めようと始まったチャリティーランも早いもので9回目を迎え、11月17日(土)に吉野公園で盛大に行われました。22チーム117名がエントリー。1/100マラソンにも10名の幼児が参加し走りました。視覚障碍ランナーを支援しているブラインドランナーズに今年も協力いただき、ブラインドラン体験を行いました。ペアになって、ひとりは伴走者となり、もうひとりは目隠しをして歩く事から始めます。伴走者は相方と一緒に歩くうえで様々な情報を的確に伝えなければなりません。そういう体験を通して障がいについて学びました。

競技は10kmを2～10名のチームで走ります。その中で今大会はブラインドランを試験的に安全性に配慮して1周だけ導入。福祉スポーツイベントに育てていこうという意思の元、不安もありつつ結果的に大成功を収めることができました。

ワイズメンズクラブにはスーパードラッグを担当してもらい、また個人の方々からもご寄付をいただきました。また熊本から九州部長の上村さん含めた3名の方々が急遽参戦していただき、一緒に走って頂きました。協働してこのイベントを成功させることができたことに心より御礼申し上げます。

まだ会計処理が終わっておりませんが、今年も約10万円のチャリティー基金を積み上げることができました。この基金をもって障がい児支援活動に役立て、ブラインドランナーズの活動を支援していきます。たくさんのご支援ご協力ありがとうございました。

